

熊本市 感染症発生動向調査 速報

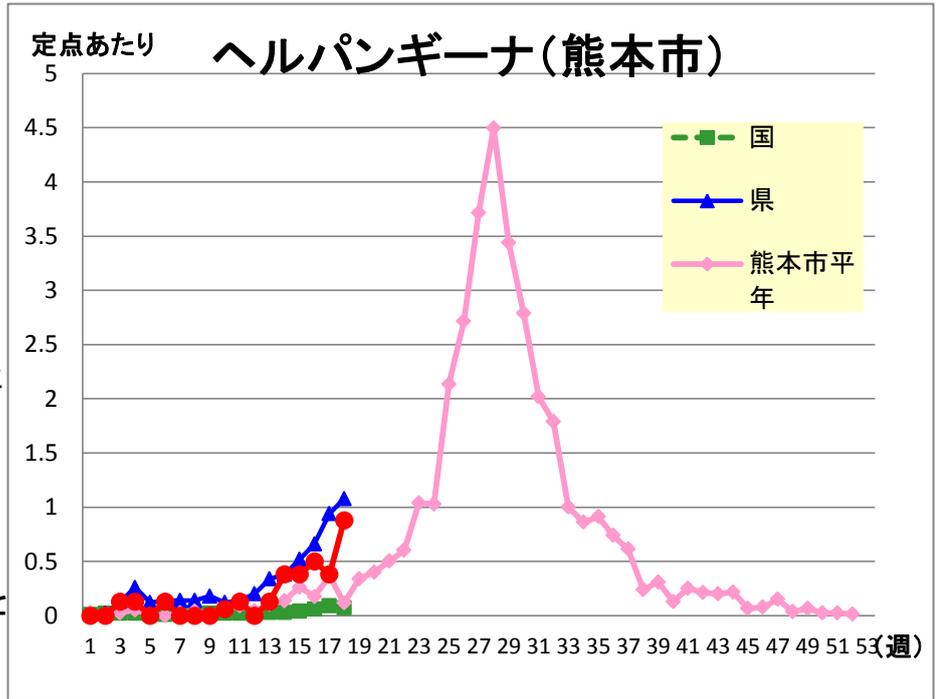
現在の流行状況

現在、熊本市で流行している疾患は特にありません。

ヘルパンギーナに注意しましょう！

先週6件の報告から今週は14件と増加しました。
 ヘルパンギーナは夏に流行する小児の急性ウイルス感染症で、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。
 2～4日の潜伏期の後、突然の発熱で始まることが多く、口の中に小さな水疱や浅い潰瘍ができ、痛みます。ほとんどの場合経過は良好ですが、まれに髄膜炎や心筋炎を起こすことがあります。特に、ぐったりしている、強い頭痛・嘔吐を伴う発熱が2日以上続く、などが見られた場合は医療機関を受診するようにして下さい。

ウイルスは、患者の鼻水や唾液、便などに存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排出されます。一般的な予防は手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。外出後、食事の前やトイレの後には、流水と石鹸で十分に手を洗い、タオルの共用はしないようにしましょう。



期 間		第17週		第18週	
		4/21～4/27		4/28～5/4	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	45	1.80	41	1.64
RSウイルス感染症	➡	2	0.13	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	4	0.25	7	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	38	2.38	38	2.38
感染性胃腸炎	⬇	167	10.44	148	9.25
水痘(みずぼうそう)	➡	21	1.31	19	1.19
手足口病	⬇	32	2.00	24	1.56
伝染性紅斑(りんご病)	➡	1	0.06	1	0.06
突発性発疹	➡	19	1.19	12	0.75
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	⬆	6	0.38	14	0.88
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	1	0.06	1	0.06
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	15	3.00	17	3.40
細菌性髄膜炎	➡	1	0.20	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	⬇	11	2.20	4	0.80